

TOTO

取替用サーモスタットシヤワー金具 施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後はお客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

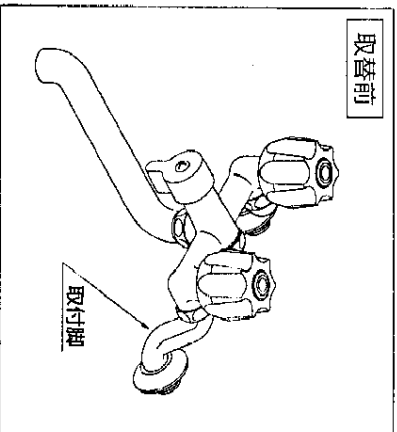
△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

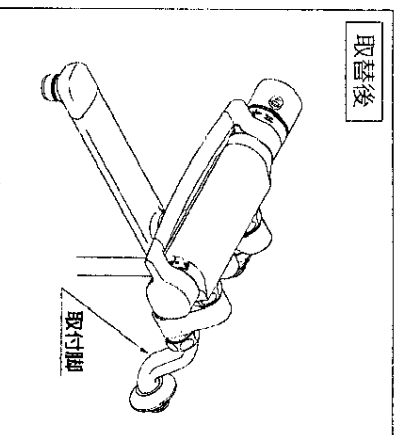
- (1) 湯水を逆に配管しないでください。サーモスタットの機能が動かず、水を出さずとしても、熱湯が出てやけどをすることがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。(寒冷地用)凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (3) 本製品は今お使いの２ハンドル混合栓の取付脚をそのまま使用してサーモスタット混合栓を取付けるものです。取付脚部や配管に腐食・ひび割れ・漏水・がたつきなどのないことを十分お確かめの上、お取付けください。

完成図

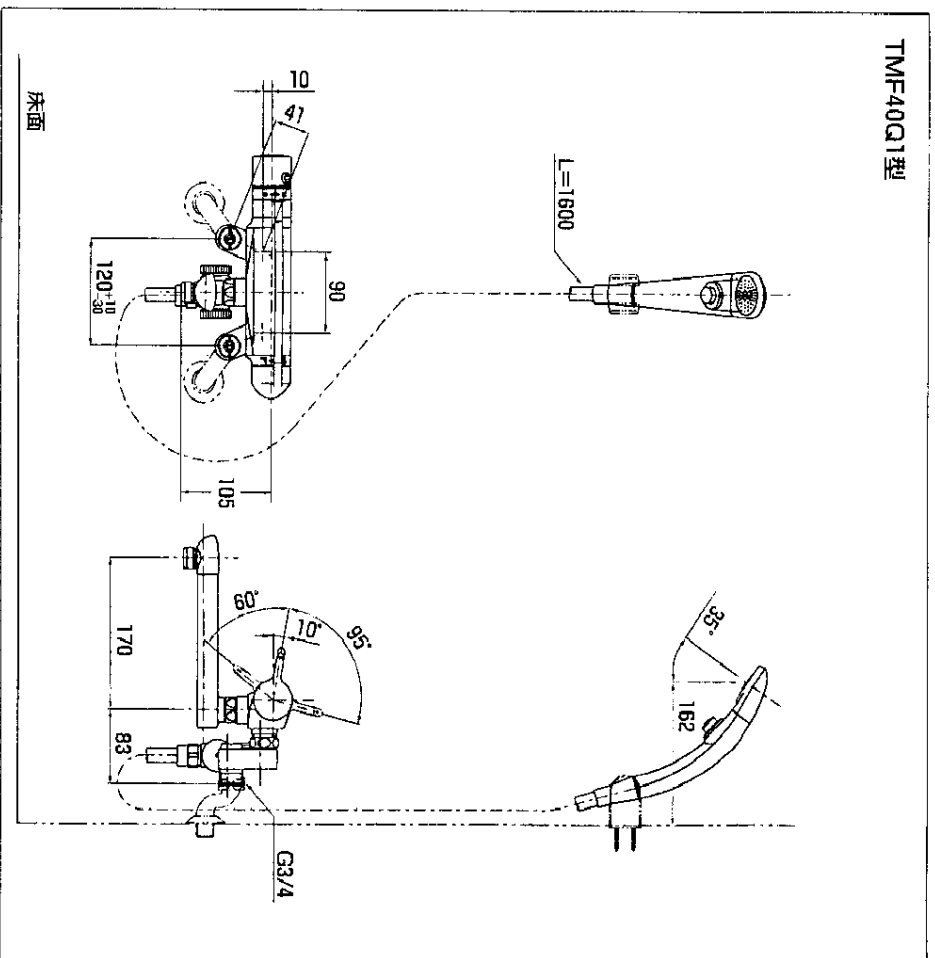
取替前



取替後



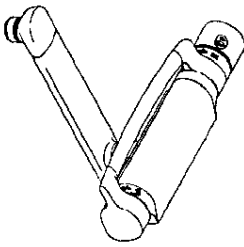
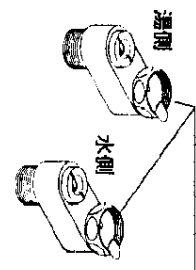
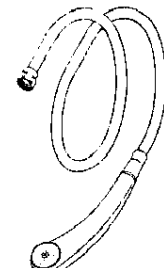


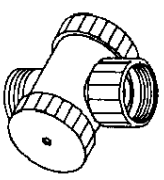
TMF40Q1型



※商品によっては、図と形状が一部異なることがあります。

※壁付き２ハンドル混合栓のほとんどに取付可能です。このうちKVK・カクダイの一部商品にはアダプタ（別売品）を使用するため前出・高さ寸法がさらに大きくなります。

同梱部品

<p>①本体</p> 	<p>②ソケット(2ヶ) パッキン[大]付き 湯側 水側</p> 	<p>③ホース付シャワー</p> 
<p>④開閉工具</p> 	<p>⑤パッキン [小] (2ヶ)</p> 	<p>⑥調圧弁 (クリックシャワー付の場合)</p> 

※商品によっては図と形状が一部異なることがあります。
 ※シャワーヘッドが同梱されていません。今お使いのものをそのままお使い下さい。

使用条件

1. 使用水压
 (1) 瞬間型給湯機と組合せる場合
 給水圧力 | 最低必要水压… (右表参照)
 | 最高水压……… 0.75 MPa

器具入口部における最低必要水压 (MPa)

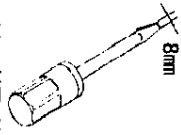
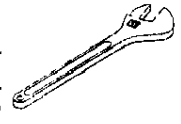
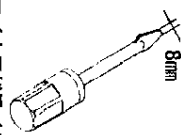
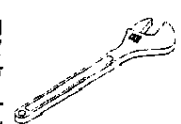

給湯機タイプ	最低必要水压	
	クリックシャワー	3モードシャワー
能力手動切替タイプ	12号	A+0.22
	TOTO ハイカスタム	0.12
比例制御タイプ	TOTO ハイトリコン	0.10
	U16	—
	U20	—
	U21	0.18
シャワータイプ	U24	—
	S16	0.11
	S20	—
ハイコソッド	U24	—
	G/U24	0.10
TOTO ハイアクテイ	32	0.17
	40	0.18

〈設定条件〉

- アーチ (切替ハンドル) 全開
 - シャワー吐水温度：42℃
 - 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
 - 水温の高い (25℃) 夏期に着火させることを想定
 - ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
- 給湯温度は60℃に設定
 - 水温の低い (5℃) 冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする
- (2) 貯湯式給湯機と組合せる場合
- 給水・給湯圧力 | 最低必要水压… 0.05 MPa (クリックシャワーの場合 0.07 MPa)
 | 最高圧力……… 0.75 MPa
- ※給水圧力が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2 MPa程度に減圧してください。
- ただし、給湯圧力は給水圧力より高くないよう設定してください。
2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。
4. 湯・水を逆配管しないでください。
- なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため再短距離で配管してください。
 配管後は必ず保温材を巻いてください。

99.6.28

使用工具

施工用	点検用
 8mm マイナドライバー 8×150  モンキーレンチ 300mm	 8mm マイナドライバー 8×150  モンキーレンチ 300mm  閉鎖工具

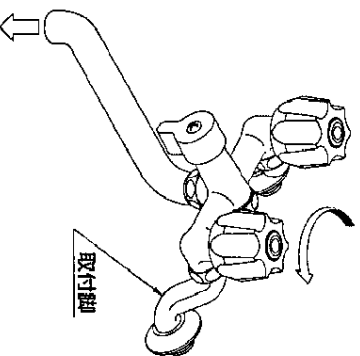
器具の取替方法

1 元栓を閉める

水道メーターの元栓を閉めてください。

取付脚部に腐食・ひび割れ・漏水等のないことを十分確認してください。
また、配管や取付脚の強度も十分確認してください。取付後、破損、漏水の恐れがあります。

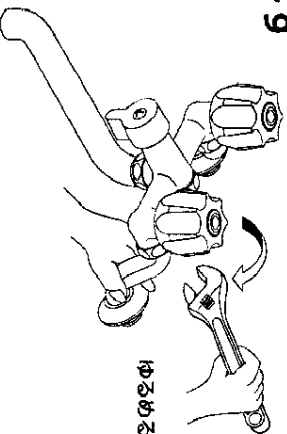
ハンドルを開け、水が出ないことを確認してください。



2 混合栓本体を取外す

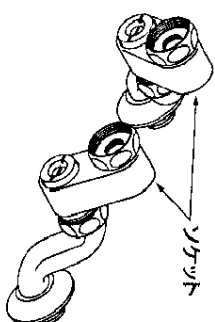
混合栓の本体部のみをモンキーレンチで取外します。

取付脚がゆるまないよう十分手で保持してください。



3 ソケットを取付ける

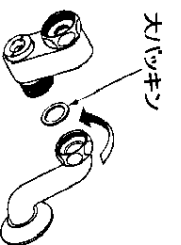
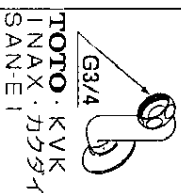
ソケットを仮止めします。



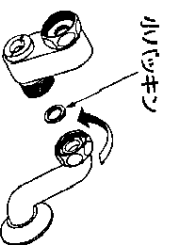
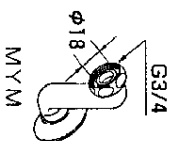
メーカーによって、必要になりますので、下の表より確認してください。アタフタは別売品です。アタフタを取付けなかった場合は前出寸法がさらに大きくなります。

2/バルブの形状

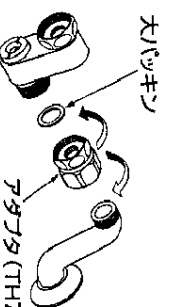
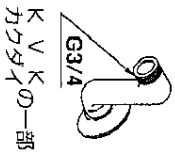
2/バルブの脚形状別の取付方法



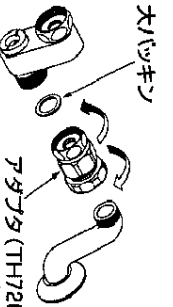
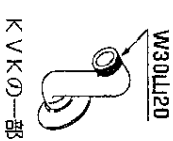
大パッキンを入れて仮止めしてください。



小パッキンを入れて仮止めしてください。





大パッキンとアタフタを取付け、仮止めしてください。



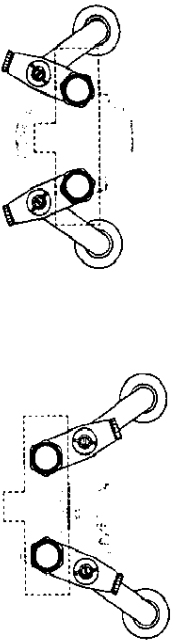
大パッキンとアタフタを取付け、仮止めしてください。

古いパッキンを取外し、付属の新しいパッキンと必ず交換してください。水漏れの恐れがあります。

TH7261はAとBでできています。

寒冷地用の場合ソケットの方向に注意してください。

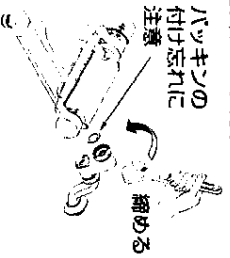


水抜きできなくなります。

4 水栓本体を取付ける

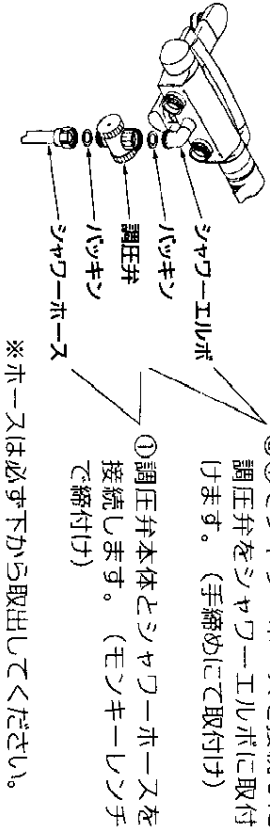
水栓本体をモンキーレンチで仮止めし、本体が水平になったら、**▶**で仮固定した部分とあわせ増し締めしてください。
増し締めの際、今まで使用している2ハンドル混合栓の取付脚に無理な力がかからないように注意してください。
また、ねじの締め過ぎにも注意してください。

! 付属のパッキンを必ず使用してください。
水漏れのおそれがあります。

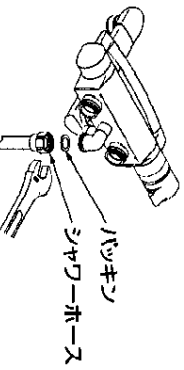


5 シャワーの取付け

※シャワーの種類によって取付方法が異なります。
(1) クリツクシャワーの場合



(2) 3モードシャワーの場合



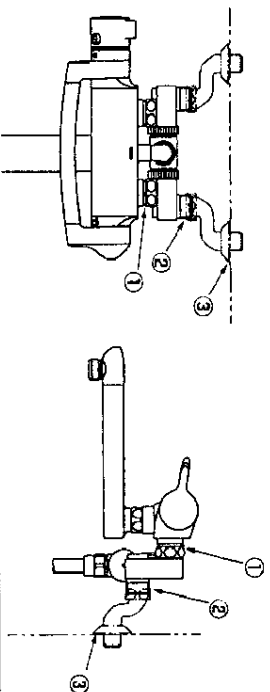
モンキーレンチで締付けてください。
※ホースは必ず下から取出してください。

再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

6 水漏れの確認

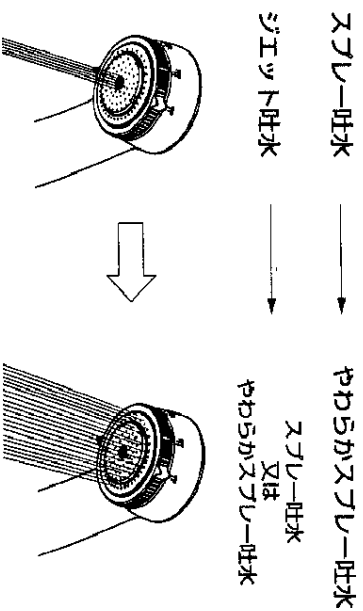
水道メーターの元栓を開けて水漏れがないか十分に確認してください。



水漏れ箇所	次のことを確認してください。
① ②	・パッキンが入っているか確認してください。 ・増し締めしてください。
③	・備考（裏ページ）を参考にもう一度取付けてください。

7 止水栓の調節（3モードシャワーの場合）

・水栓の切替ハンドルを全開にした時に、ジェット吐水の水勢が強すぎる場合は、止水栓であらかじめ水勢の調節を行ってください。
・製品保護のため、本製品には高水圧を逃がす弁を採用しております。そのため、給水圧が高い地域でジェットやスプレー吐水を使用されると、スプレー又はやわらかスプレー吐水側からも吐水し、ブーンという警告音がかかる場合がありますが、故障ではありません。



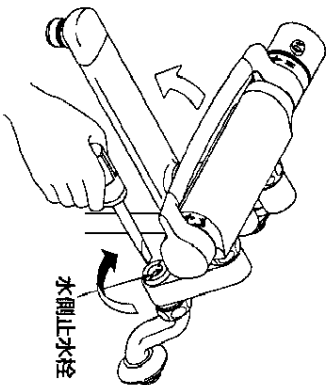
完成!

1. 取り付け後の調整

1. ストリーナの掃除

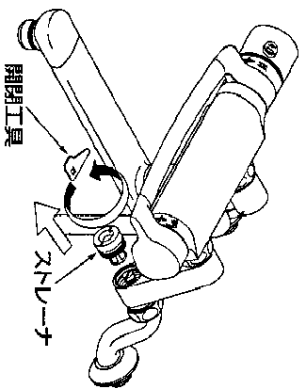
器具取付通水後は、必ずストリーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくよう、ご説明ください。

1 マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉め、アーチハンドルを開けて圧力を逃がしてください。



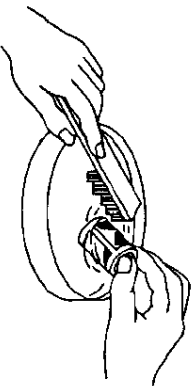
2

2 開閉工具を溝に差し込み、強く押さえつけながら矢印の方向に回してふたをゆるめ、ストリーナを取り出してください。



3

3 網目に詰まったごみを歯ブラシなどで、洗いながら取除いてください。掃除後は、「器具の取替方法」の「**7**止水栓の調節」を参照のうえ、止水栓を調節してください。（3モードシャワーの場合）



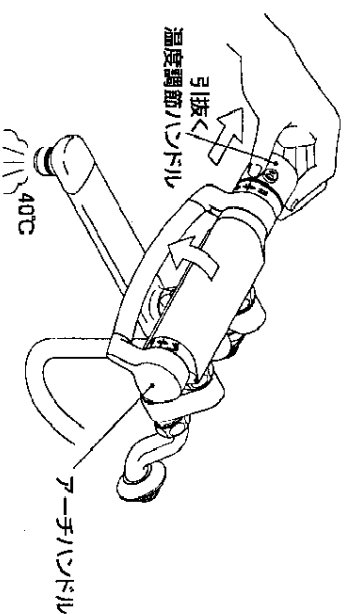
2. 温度調節

工場での温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

- 止水栓は全開になっているか。
- ストリーナのごみつまりはないか。
- 常用給湯温度（50℃以上）の湯がきているか。

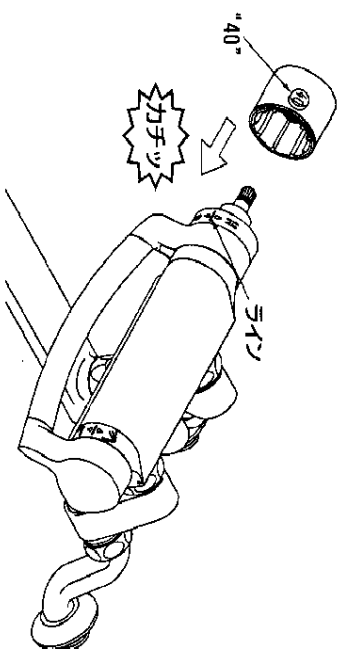
1

1 目盛に関係なく40℃の湯がでる位置まで温度調節ハンドルを回し、この位置で引抜いてください。
※ハンドルは「はめ込み式」のため強く引くと抜けません。抜けない場合は、傷が付かないようにリバーを軽くたたいてください。



2

2 目盛「40」の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを「カチツ」と音がするまで押し込んでください。



温度調節後「器具の取替方法」の「**7**止水栓の調節」を参照のうえ、止水栓を調節してください。（3モードシャワーの場合）

お手入れ

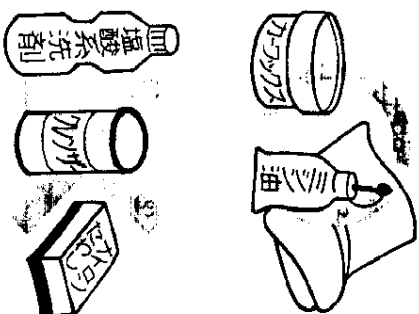
器具がいつまでも美しさを保つように、次の点に注意してお手入れをしてください。
また、お客様にもお手入れ方法をご説明ください。

カーブツクスやミネソナ油等をつけたやわらかい布でみがいてください。

注意!

樹脂部に油が付着すると光沢を失いますので付着しないよう十分注意してください。

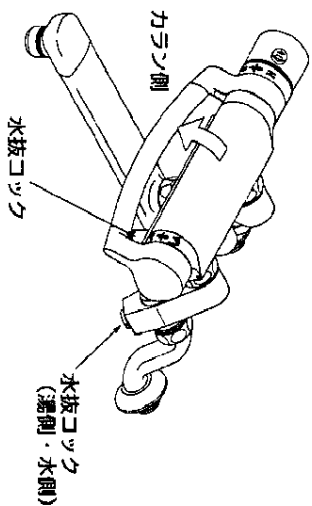
粗い粒子を含む洗剤、ナイロンたわしなどは、傷つきの原因となりますので使用しないでください。



寒冷地用の水抜き方法

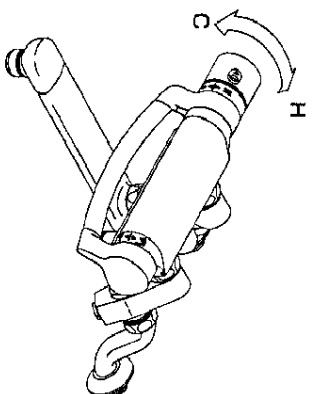
寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックがついています。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、施工完了後水抜きコックの操作と合わせて次の要領で水抜きをしてください。

1 アーチハンドルをカラン側に回し水抜きコック（3カ所）をすべて開いて水を抜いてください。



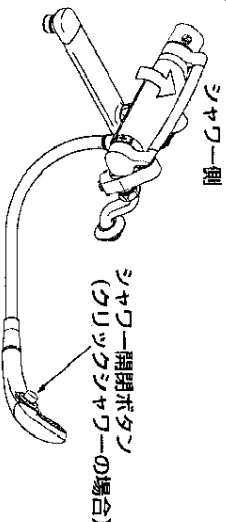
2

温度調節ハンドルを“H”側いっぱいに戻し、カランから水を抜いてください。
その後、“C”側いっぱいにも回して水を抜いてください。



3

アーチハンドルをシャロー側に回し、ホースの水を抜いてください。
シャローヘッドを振って水を抜き、床へ置いてください。
水抜き完了後は必ず水抜きコックを閉じておいてください。



※カッティングシャローの場合は必ずシャロー開閉ボタンを“開”の状態にして水抜きを行ってください。

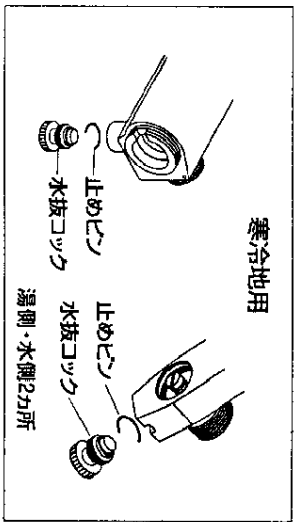
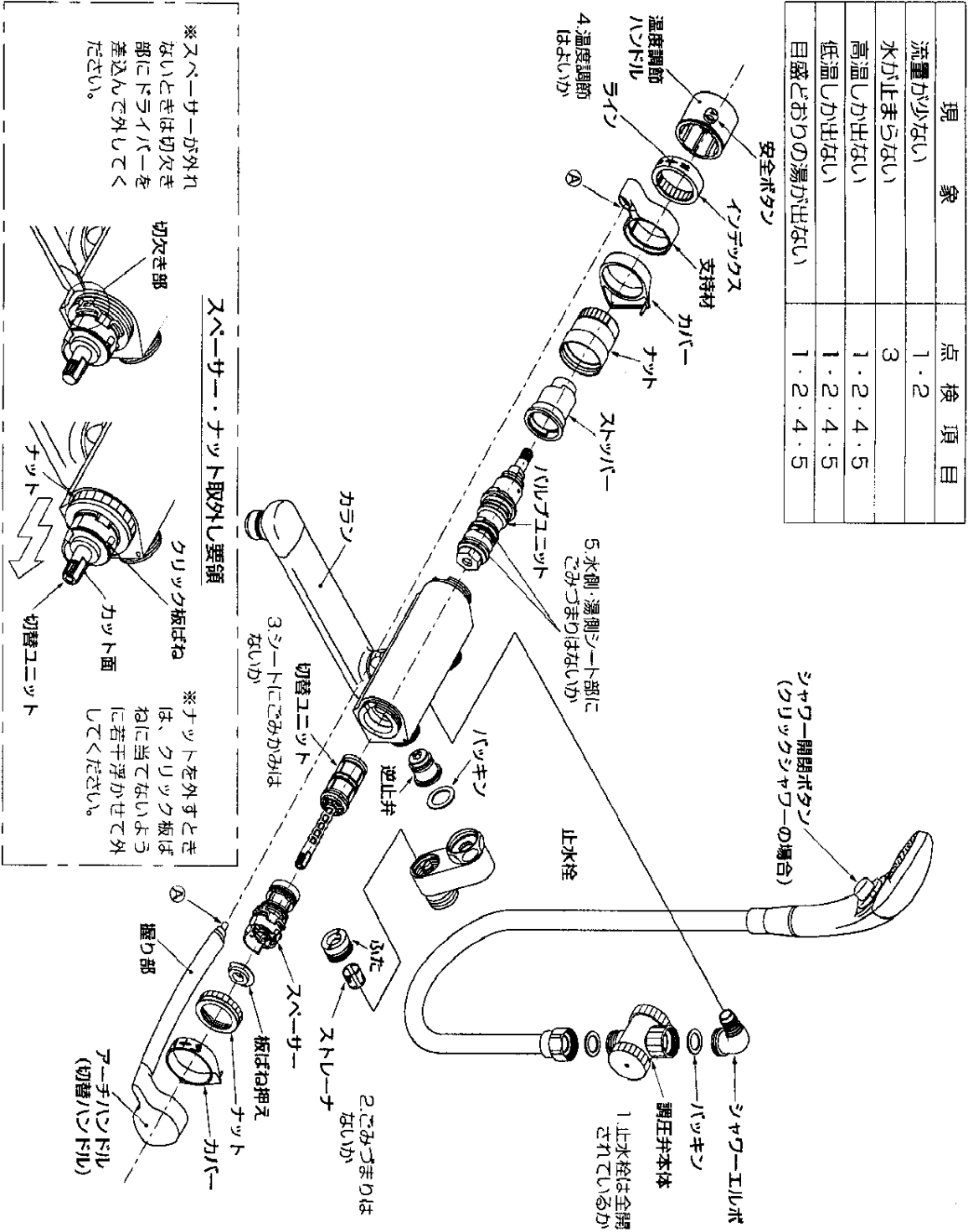


日立 一分 解ミと点検 一七取替用 OI/OI

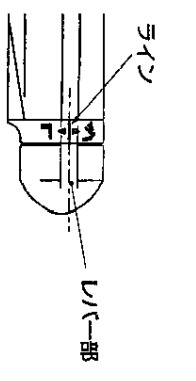
取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

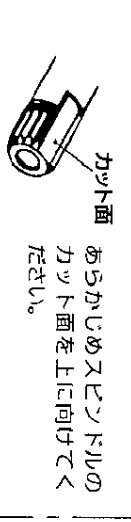
現象	点検項目
流量が少ない	1・2
水が止まらない	3
高温しか出ない	1・2・4・5
低温しか出ない	1・2・4・5
目盛どおりの湯が出ない	1・2・4・5



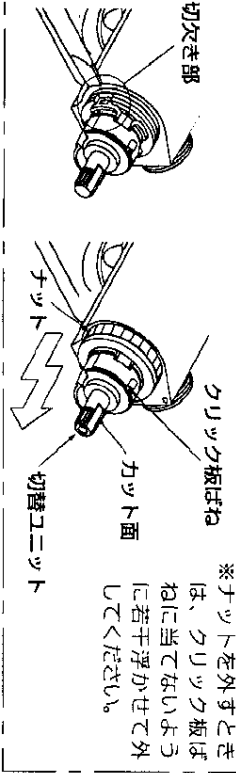
※アーチハンドルを取付けるときは、カバーのライソ(ノリ)のライバー部を合わせて、握り部と支持材の差込み部(図中◎部)にずれないように注意しながら「カチツ」と音がするまで押し込んでください。



※◎部が正しくはめ合わされていない状態で無理に押し込むと、ハンドルが壊れる場合があります。



スプレー・チャット取外し要領



※スプレーが外れないときは切欠き部にドライヤーを差込んで外してください。

※チャットを外すときは、クリック板はねに当たらないように若干浮かせて外してください。

備

考

水漏れチェック時、壁部分から水漏れが発生した場合は、再度器具の取付けを行ってください。
水漏れが発生した取付脚だけ取付け直してください。



1 取付脚を外す

元栓を閉じて

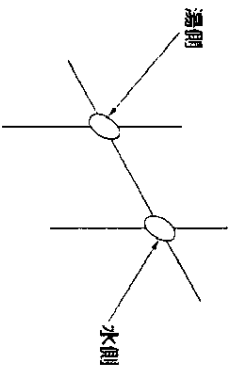
今までついていた混合栓の取付脚を外し配管内のゴミ等を取り除いてください。

回転数確認

取付位置から取付脚を外すまでの回転数を下表に書いておきましょう。

水側	回
湯側	回

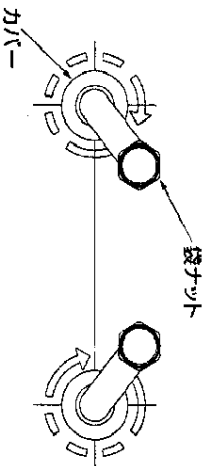
※配管について古いシールテープやごみを取除いてください



2 仮ねじ込みをする

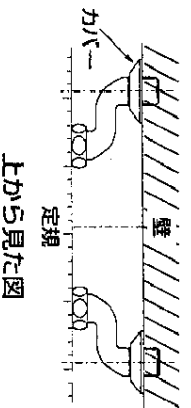
①仮ねじ込み

袋ナットを取付脚に通した状態で、カバートをねじ込んでから取付脚を配管にねじ込み、次に示す②～③にそって位置決めをしてください。



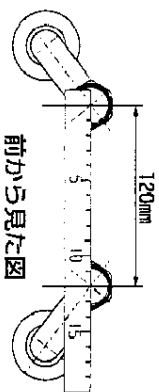
②脚部位置決め

2つの取付脚の端面を上に向け壁と平行にします。
(定規が壁と平行になるよう取付脚を回転させてください。)



③取付位置決め

取付脚の間隔を120mmにしてください。
(この位置がバジネットの取付位置)になります。

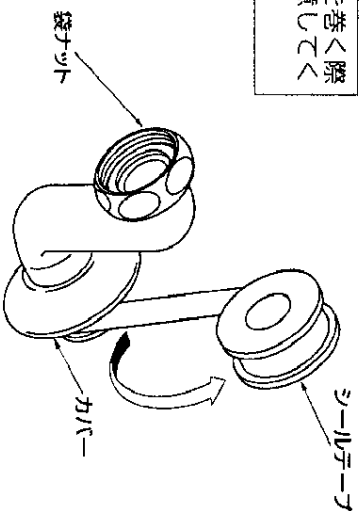


3 シールテープを巻く

取付脚を一度外し、シールテープを5回程巻いてください。

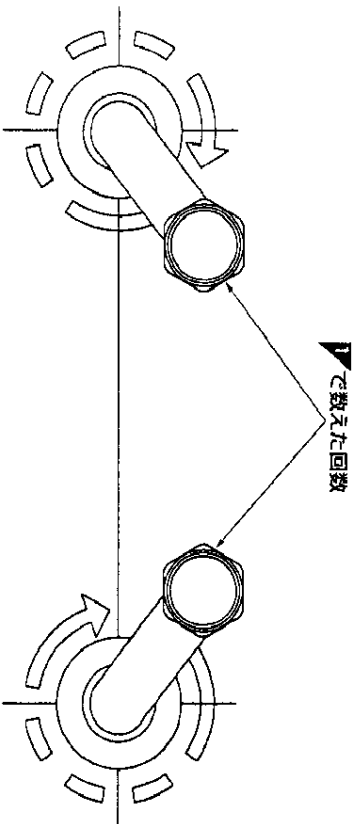


シールテープを巻く際は、方向に注意してください。



4 本ねじ込みをする

「1.取付脚を外す」で数えた回数まで取付脚をねじ込み、「2.仮ねじ込みをする」の②③にそって位置を決めてください。
締め込みがゆるい場合は一度取外し、シールテープを多く巻いて再度ねじ込んでください。



この後は表ページ「器具の取替方法」

3より順番に取付けてください。